

故障かな？と思ったら

スタンバイ/スリープランプが点滅していたら	点滅の回数を数えて、テレビの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。(点滅回数でテレビの状態を知ることができるためです。)
テレビが映らない	電源コードがはずれていませんか？ テレビ本体の電源が入っていますか？
画像は出るが、音が出ない	音量が下がり切っていませんか？ ヘッドホンをつないでいませんか？ 画面に「消音」の表示が出ていませんか？
画像が二重、三重になる	アンテナ線がはずれかかっていますか？ 山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。アンテナの位置、角度、高さを調整してください。 突然画像が二重、三重になった場合はお買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風が吹くとちらつく	アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ アンテナの寿命ではありませんか？通常3-5年、海辺では1-2年です。 アンテナ線がはずれていませんか？
はん点や点模様走る	ヘッドライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	メニューで「画質調整」を選び、調整してください。
雑音が多い	フィーダー線を使用していないですか？ メニューで「オートステレオ：切」にしてください。
特定のチャンネルだけが映らない	チャンネルを合わせ直してみてください。
ビデオの画像・音が出ない	接続コードがはずれていませんか？ リモコンまたはテレビ前面の入力切替ボタンを押してみてください。
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗していませんか？ テレビ本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていませんか？
キャビネットから「ビシッ」というきしみ音が出る	周囲の温度変化でキャビネットが伸縮すると「ビシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。
電源を入れたときにブーンという音が出る	地磁気などの影響を取り除くために働く消磁回路の動作音です。故障ではありません。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音が出る	テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
ステレオ放送なのに、音声ステレオにならない	メニューで「オートステレオ：入」にしてください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

➔

- 電源を切る
- 電源プラグをコンセントから抜く
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを	「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。
それでも具合が悪いときはサービス窓口へ	お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店が、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-21SP1

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

お買い上げ店などを記入しておくと、修理の依頼のときに便利です。

お買い上げ店
TEL.
お近くのサービスステーション
TEL.

各部のなまえ

本体のボタンはリモコン(同じなまえの)ボタンと同じ動きをします。

リモコン

- 消音ボタン
- 画面表示ボタン
- 入力切替ボタン
- チャンネル数字ボタン
- 音量 +/- ボタン
- 電源ボタン
- ゲームボタン
- ゲーム切替ボタン
- チャンネル +/- ボタン
- メニュー操作ボタン
- メニューボタン
- 選択 +/- ボタン
- 決定ボタン

前面

- ヘッドホン端子
- AVマルチ入力端子
- ゲーム/ビデオ2入力(S映像/映像/音声)端子
- リモコン受光部
- スタンバイ/スリープランプ
- 電源ランプ
- 電源スイッチ

リモコンに乾電池を入れるには

単3形乾電池2個を必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。

電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモコン操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り換えください。

主な仕様

テレビ

受信方式 NTSC方式
 受信チャンネル VHF 1-12チャンネル
 UHF 13-62チャンネル

アンテナ端子 VHF/UHF 75 F型コネクター
 ブラウン管* 21型トリニトロン100度偏向

*このテレビの型は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法 40.5×30.4、50.6cm(幅×高さ、対角径)
 スピーカー 8cm 円型
 音声出力 実用最大(EIAJ): 3W×3W
 ビデオ1入力、ゲーム/ビデオ2入力端子
 S映像入力: 4ピンミニDIN
 映像入力: ビンジャック、1Vp-p、75 不平衡、同期負
 音声入力: ビンジャック、500mVrms/インピーダンス47k

AVマルチ入力端子 12ピン
 ヘッドホン端子 ステレオミニジャック/負荷インピーダンス16以上
 電源 AC100V、50/60Hz
 消費電力 86W(リモコン待機時0.9W)
 年間消費電力量** 120kWh/年

**年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類の別算定式により、一般家庭の平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

最大外形寸法 496×488×489mm(幅×高さ×奥行き)
 質量 23.2kg
 付属品 リモートコマンダーRM-J216 (1)
 単3形乾電池 (2)
 アンテナコネクター (1)
 取扱説明書 (1)
 安全のためにソニーご相談窓口のご案内 (1)
 保証書 (1)
 安全点検のすすめ (1)

別売りアクセサリ

マルチAVケーブル VMC-AVM250
 ステレオヘッドホン MDR-AV55、MDR-IF610K
 テレビスタンド SU-21V
 接続ケーブルなどは「アンテナと電源をつなぐ」をご覧ください。

・このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いできません。

・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KV-21SP1

© 1997 by Sony Corporation

アンテナおよび電源をつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

アンテナ端子の形 使用するケーブルなど

そのままつなぎます
 同軸ケーブル EAC-315(別売り)など

VHF/UHF、またはVHFまたはUHF
 同軸ケーブル EAC-230、250(別売り)など
 付属のアンテナコネクター(Aを参照)

VHFまたはUHF
 フィーダー線(別売り)
 付属のアンテナコネクター(Bを参照)

VHFとUHF
 同軸ケーブル EAC-315(別売り)など
 フィーダー線(別売り)
 V/Uミキサー(別売り)(Cを参照)

F型コネクター付きの同軸ケーブルの場合
 付属のアンテナコネクターを使わずに、直接テレビのアンテナ端子につなぎます。

テレビの転倒を防ぐために
 お子様テレビに登ったり、押ししたりすると、テレビが倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。

A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

- 3C-2V*の場合
 同軸ケーブル 6 4 10(mm)
 折り返す
- 5C-2V*の場合
 同軸ケーブル 6 4 10(mm)
 折り返さない

*つなぐケーブルの太さをあらかじめ、確認してください。

- アンテナコネクター
 ツメのロックを外して開ける
- 点線部分のリード線ははずし、プラスチック部分にはさみ込みます
- 同軸ケーブルを差し込み、ペンチなどで締めつける
- 芯線を端子に巻き付ける
 (注)他の金属部分に接触しないように
- ふたをしめる

テレビのVHF/UHF端子へ

B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

- 芯線をよじる
 フィーダー線 15mm
- ネジをゆるめて芯線を巻きつけ、ネジをしめる。
 テレビのVHF/UHF端子へ
 アンテナコネクター

C V/Uミキサーをつなぐ

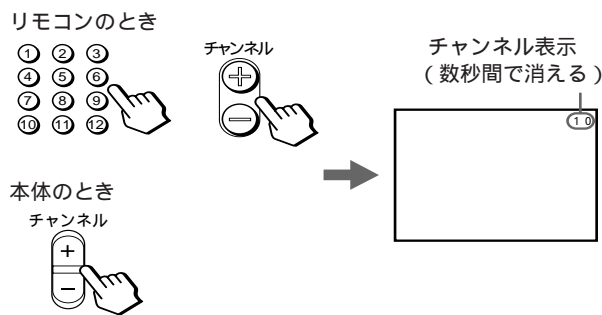
- VHFのアンテナケーブル
 V/Uミキサー-EAC-68(別売り)など
- UHFのアンテナケーブル
 ネジをゆるめて芯線を巻きつけ、ネジをしめる
 テレビのVHF/UHF端子へ

テレビを見る

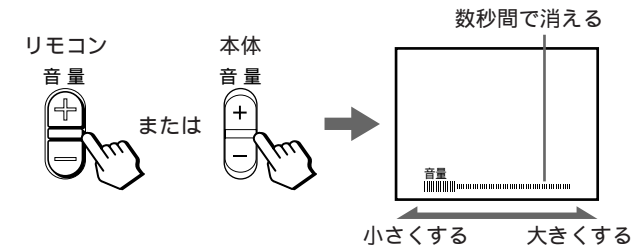
テレビ本体の赤いスタンバイ/スリープランプが点灯していないときは、本体の電源スイッチを押します。

1 チャンネルを選ぶ。

リモコンのチャンネル数字ボタン、チャンネル+/- ボタンまたは本体のチャンネル+/- ボタンを押します。自動的に電源が入り、選んだチャンネルが映ります。(電源スイッチでも電源が入ります。)



2 音量 +/- ボタンを押して、音量を調整する。



放送が終了すると

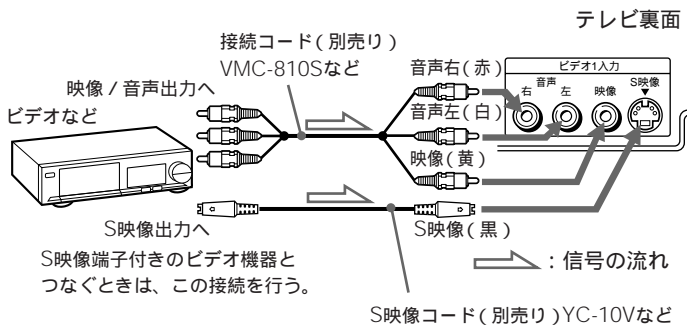
約10分後に自動的にテレビが消えます。

こんなときは	この操作をします
テレビを消す	リモコンの電源ボタンを押す
音を一時的に消す	消音ボタンを押す
チャンネル表示を出す	画面表示ボタンを押す
ヘッドホンで聞く	テレビ前面のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐ

ビデオなどを見る

ビデオ機器などをつなぐ

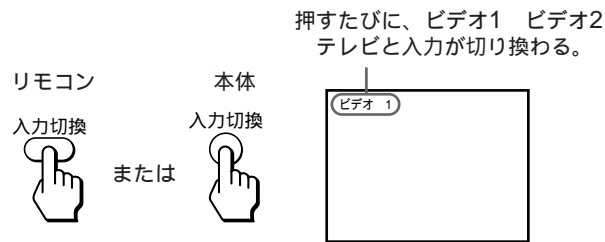
テレビ裏面または、前面のビデオ入力端子につなぎます。



・S映像端子と映像端子を同時に接続すると、S映像が優先されます。

ビデオなどを見る

1 入力切換ボタンを押して、ビデオ機器をつないである入力を選ぶ。



2 ビデオ機器を再生する。

注意

小さなお子様がスピーカーダクトに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となる場合があります。

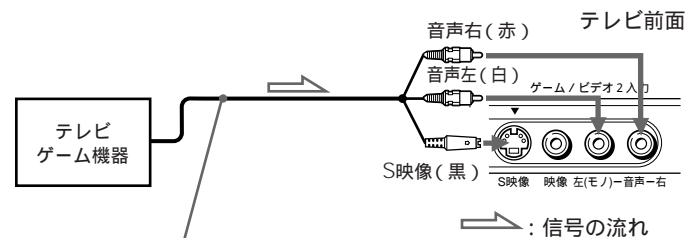
テレビゲームをする(ゲームボン機能)

テレビ前面のゲーム/ビデオ2入力端子やAVマルチ入力端子につないだテレビゲーム機器の画像を、ボタンを押すだけで楽しむことができます。テレビゲームや「プレイステーション」の取扱説明書もあわせて、お読みください。

「プレイステーション」は、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。

テレビゲーム機器をつなぐ

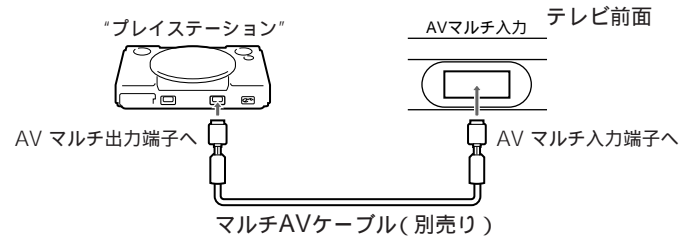
ゲーム/ビデオ2入力端子につなぎとき



テレビゲーム機器にS映像出力がない場合は、映像端子へ接続します。

AVマルチ入力端子につなぎとき

別売りのマルチAVケーブル(VMC-AVM250)を使って「プレイステーション」につなぎ、RGB接続になり、よりきれいな画像でゲームを楽しむことができます。



ご注意

AVマルチ入力は、RGB映像信号のため、ビデオ入力に比べて色の帯域が広がっています。色合いが異なる場合がありますが、故障ではありません。

テレビゲームをする(ゲームボン機能)

ゲームボタンを押す。

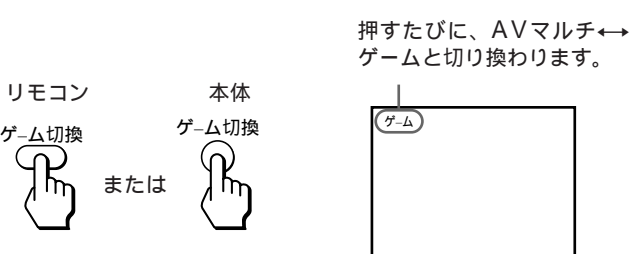


本体の赤いスタンバイ/スリープランプが点灯していれば、自動的に電源が入り、最後に選んでいたゲーム画面が表示されます。点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。

もう1度押すと、電源が切れます。

また、テレビやビデオなど他の入力映像を見ているときも、ゲームボタンを押すと、ゲーム画面に切り換わりします。

ゲーム入力とAVマルチ入力を切り換えるとき



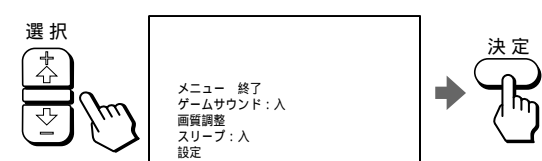
迫力のあるサウンドを楽しむ

通常の音声よりも迫力のある音声を楽しむことができます。お買い上げ時、AVマルチ入力とゲーム入力は「ゲームサウンド」に入りに設定されていますが、入力信号ごとに設定することもできます。

1 入力切換ボタンまたはゲームボタンを押して設定したい入力を選ぶ。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 選択 +/- ボタンを押して「ゲームサウンド」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択 +/- ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

UHFを見る/チャンネルを合わせ直す/放送のないチャンネルをとばす

UHFを見るには、チャンネルボタン①~⑭のうち空いているボタンに見たいチャンネルを割り当ててください。例として、⑦に42チャンネルを割り当てます。⑦ボタンを押すと、42チャンネルが映るようになります。

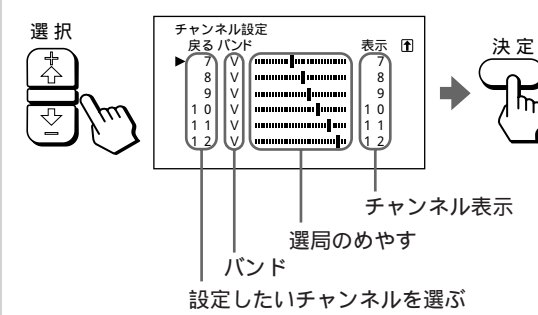
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 選択 +/- ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。

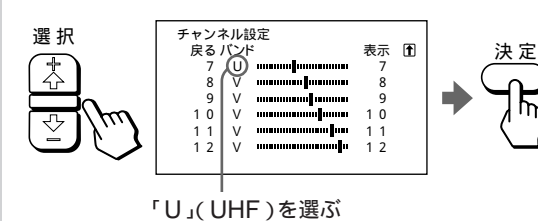
3 選択 +/- ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択 +/- ボタンを押して設定したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

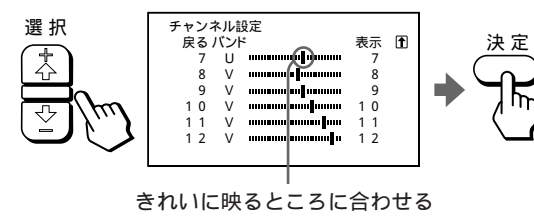
6より大きい番号に設定したいときは、選択 +/- ボタンの「-」で、▶を6より下に移動します。



5 選択 +/- ボタンを押してバンドの「V」(VHF)または「U」(UHF)を選び、決定ボタンを押す。

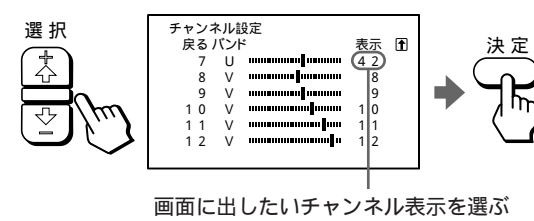


6 選択 +/- ボタンを押して見たいチャンネルが一番きれいに映るところに合わせ、決定ボタンを押す。



7 選択 +/- ボタンを押して変更したいチャンネル表示を選び、決定ボタンを押す。

チャンネル表示を書き換えたいときは、決定ボタンを押します。



8 他のチャンネルを合わせたいときは、手順4~7を繰り返す。

9 メニューボタンを押して、メニューを消す。

放送のないチャンネルをとばす

手順7でチャンネル表示を「0」にします。チャンネル +/- ボタンを押したときに、設定したチャンネルはとばされます。

UHFのチャンネル番号について

地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などで確かめください。

メニューを使った便利な機能

画質を調整する

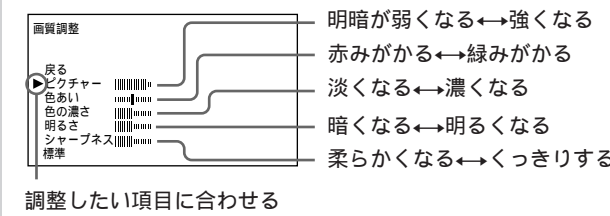
入力信号ごとに設定することができます。

1 入力切換ボタンまたはゲームボタンを押して、設定したい入力を選ぶ。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ▶が「画質調整」にあることを確認し、決定ボタンを押す。

4 選択 +/- ボタンを押して調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。



5 選択 +/- ボタンを押して画質を調整し、決定ボタンを押す。

6 他に調整したい項目がある場合は、手順3~4を繰り返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の設定に戻す

手順3で「標準」を選びます。

AVマルチ入力端子につないでいるときは

色あい、色の濃さおよびシャープネスを調整することはできません。これらを選択すると、「AVマルチ入力では選択できません」と表示されます。

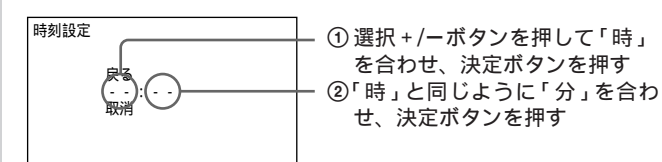
時刻を表示する

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 選択 +/- ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ▶が「時刻設定」にあることを確認し、決定ボタンを2回押す。

4 「時」「分」の順に合わせる。



5 選択 +/- ボタンを押して「時刻表示」を選び、決定ボタンを押す。

6 選択 +/- ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

画面右下に時刻表示が出ます。

時刻を消す

手順6で「切」を選びます。

テレビの消し忘れを防ぐ(スリープ機能)

設定をしたあと、約1時間後に自動的にテレビが消えます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 選択 +/- ボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択 +/- ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

本体のスタンバイ/スリープランプが点灯します。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音声を切り換える

二重音声放送のときに、主音声、副音声、主+副音声のいずれかを選ぶことができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 選択 +/- ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択 +/- ボタンを押して「二重音声」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択 +/- ボタンを押して「主」「副」「主/副」のいずれかを選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ステレオ放送の雑音を低減する

音声をモノラルになります。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 選択 +/- ボタンを押して「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択 +/- ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択 +/- ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音声をステレオに戻す

手順4で「入」を選びます。